

## 日程

8:30 9:00 11:15 12:30 14:45 17:00

受付	公開 授業	休憩	全体会		学部別分科会
			基調提案	全体講演	

## 基調提案

本校は、学校生活で見せる子供たちの姿から瞬時に思いを読み取り教育実践に反映させることで、子どもたちの心を揺さぶる教材を開発してきました。

子どもたちは、楽しく、充実する活動と、その活動を共にする仲間の中で、様々な自分の感情や思いに出会い、内面を膨らませています。私たち教師も、子供たちの内面世界が豊かに膨らむようにと、日々の生活の中で、子供たちが発するものを、教師への呼びかけとして捉え、それに応えていくことを大切に教育活動を進めています。このたびの研究協議会では、このような教師と子供の「ケアリング関係」が根底にある「ことば・あそび」「国語・基礎」の授業づくりについて提案いたします。ご参加の皆様との研究協議を通して、「ことば・あそび」「国語・基礎」の授業づくりについて深めていきたいと思っております。どうぞご参加ください。

研究推進委員長 柴田 真砂代

## 全体講演者紹介



津田英二

神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 本校校長 専門は社会教育論、生涯学習論。インクルーシブな社会の創生に関わる多様な実践に関与しながら、文化と人を育てる実践研究を試行錯誤している。子育て支援を契機にした共生の町づくり「のびやかスペースあいち」、知的障害者に大学教育を開く「学ぶ楽しみ発見プログラム」に関わる。「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム座長。本校校長としては、卒業式に一人一人の子どもの様子を織り込んだ自作曲を贈っている。毎年、卒業学年の保護者、子どもたちは、大きな期待を寄せている。著書「生涯学習のインクルージョン」「物語としての発達/文化を介した教育」「生涯学習の支援論」など

## 小学部

～体感と実感を大切にすることで、ことばを豊かに広げる～

小学部の子どもたちは水遊びをしたり、風を切って自転車で走ったりするなど、日々エネルギーに遊んでいます。その遊びを大人も一緒にたっぷり楽しむ中で、子どもたちと応答することを大切にしています。言葉を教え込むのではなく、しっかりと大人と楽しさを共有したり、互いに心が震えるような楽しい活動や遊びに出会ったりすることが小学部時期には何より大事であると考えています。そうした活動を通してこそ体感、実感をともなった言葉が広がっていくのではと考え実践を積み重ねています。どうすれば子どもたちの言葉が豊かに広がるのかについて論議を深めたいと思っております。

## 中学部

～仲間との対話を通して異質な存在への理解と共感を育む～

今の中学部の生徒の多くは、他者と協調することを強く求められてきたためか自治の力が育っていません。そのため、自分と他者との差異をポジティブに捉えられず、自分を正当に表現できなくなったり、他者と繋がるのが難しくなったりしています。

中学部の国語・基礎の授業では、物語作品を演じることや生き物の飼育観察に取り組んでいます。生徒たちは、友達とお互いの演技・表現を見合ったり、意見を交わしあったりしながら、他者の気持ちを推測したり、背景世界への理解を深めたりして、想像力を高めていきます。仲間と共に言葉や文字からイメージの世界を立ち上げていくことは、自分とは異なる存在への理解と共感を育む力につながります。多様性やインクルージョンには欠かせない対話の能力をつけることが、国語教育には必須であると考えています。

## 高等部

～仲間と共に新しい価値世界に出会うことで、主体的な学びを実現する～

高等部は、これまでの育ちの中で学習に対して「面白くない」「わからない」というイメージを持っている生徒も多く、授業の内容を聞く前から「そんなん(勉強)しないからな」と出て行ってしまいう生徒もいます。また、人と比較して「できない自分」を感じてしまって、仲間と一緒に学ぶことに前向きになれない生徒も多いです。さらに、思春期真っ只中の高校生ということで格好悪いことはしたくないという思いもあります。

そのような子どもたちが「主体的に学ぶ」ためには何が必要なのでしょう。「主体的な学び」を実現する授業では、知的好奇心をくすぐる題材であることはもちろんですが、それ以上に仲間と共に学ぶ中で新しい世界や価値に出会えることが大切だと考えています。

今回、公開・協議する『国語・基礎』でも、生徒たちがわくわくしながら新しい世界と出会えるような題材の中で、試行錯誤をし、そこで感じたことを仲間と伝え合えるような学びを大切にしています。仲間と共に感情を揺さぶられる体験があるからこそ、学びを通じた自分づくりも進んでいくと考えています。社会に巣立つ前の3年間だからこそ大切にしたい「主体的な学び」について、参加者の皆さんと一緒に考え、深めていきたいと思っております。

### 参加申し込み グーグルフォーム

・参加方法は、「**対面開催（オンデマンド配信付き）**」「**オンデマンド配信のみ**」のいずれかです。

・申込 URLまたはQR コードから申込フォームに必要な事項の入力をお願い致します。

<https://forms.gle/CsuWD3rpFqsDsXum9>



### 参加申込受付の締め切り

対面開催 11月10日（金）

オンデマンド配信 12月 1日（金）

### 交通案内

#### ●自家用車

- ◇国道2号線「大久保東」を北へ約5分
- ◇第2神明「大久保インターチェンジ」より、約5分。

★校内に駐車場所は**ありません**。**お車の方はお知らせください**。ご案内いたします。

#### ●タクシー

- ◇JR「大久保駅」より約8分。JR「西明石駅」より約15分。

#### ●神姫バス JR「大久保駅前」より

- ◇「明石中央体育会館」行き「養護学校前」下車すぐ。  
8:48発→8:56着
- ◇「高丘循環」行き、「高丘1丁目」下車。  
8:05発 8:30発  
(バス所要時間12分、徒歩約12分)

★昼食は、本校より徒歩5分ほどの「第2神明・明石サービスエリア」を利用いたします。付近にコンビニ等の店は**ありません**。よろしければ、弁当をお申し込みください。



神戸大学附属特別支援学校  
明石市大久保町大窪2752-4  
Tel 078-936-5683 Fax 078-936-7114  
E-mail  
kuspe-yougo@edu.kobe-u.ac.jp

## 神戸大学附属 特別支援学校 第26回 障害児教育研究協議会

### 「ケアリングを基盤とした 対話的で深い学びの創造」 ～仲間との共有世界を広げる あそびに着目した授業作り～

学びは喜びであるはずですが。学ぶことは、まずは楽しいことでなければなりません。生き生きと生きていくためには学びは不可欠なのであり、その学びは一生継続していくべきものです。たくさんのワクワクする学びの経験は、子どもたちの財産になるはずですが。

学びは同時に、「なりたい自分」になるための未来への投資でもあります。その出発点にたくさんの豊かな経験がなければ、「なりたい自分」を見つけたことはできません。

本校は長く、子どもたちのワクワク感を大切に授業、子どもたちの豊かな経験を創り出す授業に取り組んできました。今回の研究協議会は、そうした授業実践とその中での子どもたちについて語ることによって、豊かな経験をもたらす楽しい授業の価値を言語化し、多くの方たちと共有する機会にしたいと考えています。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

学校長 津田 英二

### 公開授業

小学部「ことば・あそび」

中・高等部「国語・基礎」

全体講演

「楽しく学び、豊かに生きる」

津田 英二

(本校校長 神戸大学大学院教授)

### 共同研究者

小学部 赤木 和重

(神戸大学大学院教授)

中学部 川地 亜弥子

(神戸大学大学院准教授)

高等部 大宮 とも子

(日本福祉大学 准教授)

### 対面開催

2023年11月18日(土)

オンデマンド配信

12月4日(月)～1月14日(日)

参加費無料

後援

兵庫県教育委員会

明石市教育委員会

神戸市教育委員会

加古川市教育委員会

